（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	Lotusのぞみ市原

公表日　2025/12/23

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・支援の内容	1	利用定員が事業全般要領のスペースとの関係で適切であるか。	○		適切に確保できています。	全職員が把握されているよう整理整頓を心掛ける。
	2	利用定員がこどもの対象児に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		専門職配置が、加配等申を通じ手厚い配置を行っている。	利用者増のため、その他の配置者でも適切かつ、できるだけ配置を行う。
	3	生活空間は、どのようにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリーなど利用者に配慮、環境上の配慮が適切に行われているか。		○	視覚的環境の工夫による配慮は適切に行っている。	他設計調のため、現状バリアフリーだが無い
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの数や活動に応じた広さが確保されているか。	○		衛生用品や食器は別に保ちし、視覚的な清潔感がある。環境を整備している	
	5	必要に応じて、どこでも利用可能な感覚や器具を使用することが認められる環境になっているか。	○		相談室兼調理室が使用できるようになっている。	相談室兼調理室が使用中の際、調理を使うことが出来ない方が、利用する必要がある。
業務内容	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（計画策定と振り返り）など職員が実施している か。	○		月に一度のミーティングや、個別面談の際に行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けているか。その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向けのアンケートを行っている。	今後、保護者等の意向を尊重して業務改善に努めていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けているか。その内容を業務改善につなげているか。	○		月に一度のミーティングや、個別面談の際に行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は行っていないため、今後の業務改善につなげるために検討する。
	10	職員の資質向上を図るために、研修を受講する機会や法人内部で研修を実施する機会が確保されているか。	○		入社時に職員研修・新任教育の全般プログラム研修を行う他、月に一度、勉強会を行っている。	プログラム内容の修正を検討する。
適切な支援の内容	11	適切な支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムの作成、公表を行っている。	プログラム内容の修正を検討する。
	12	最初のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を把握できるように工夫した、放課後等デイサービス計画案を作成しているか。	○		保護者、児童のニーズを把握した上で作成を行っております。	
	13	放課後等デイサービス計画案を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解のうえ、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		担当者会議を定期的に開催し、内容の理解のもとで検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画の職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に沿った支援が行われています。	
	15	こどもの成長に合わせ、客観的とされたスケールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを通じインフォーマルなアセスメントを適時適切に実施している か。	○		アセスメントツールは使用している。	独自で作成した物を使用しているため、今後検討したい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」に「本人支援」、「家族支援」、「関係者支援」及び「地域支援・地域連携」のなかから、日々の実際の状況を踏まえながら、こどもの支援に必要な課題の観点に設定され、それらで、具体的な支援内容が設定されているか。	○		基本的に内容は網羅されています。	「本人支援」、「家族支援」、「関係者支援」及び「地域支援・地域連携」という項目は、したがりません。
関係機関との連携の内容	17	送迎プログラムの実施チームで行っているか。	○		送迎職員が中心となり、プログラムを作成している。	送迎職員にも参画する場合を検討する。
	18	送迎プログラム安全性にないように工夫しているか。	○		送迎職員が中心となり、送迎計画をたてないようにこと工夫している。	送迎職員にも参画する場合を検討する。
	19	こどもの状況に応じて、福祉関係と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		各利用者に合わせて福祉、集団のテーマを考えて作成している。	
	20	支援開始時には関係機関などが打合せをし、その日のこどもの支援内容や問題や配慮などについて確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○	支援前に朝礼・夕礼を時間を設け、全スタッフで打ち合わせ等を行っております。	
	21	放課後？事業には、職員間でかぎ代行を行い、その日のこどもの様子等の記録や伝達が行われ、抜けもれ点検を時間をいれている。		○	終了時は行っておりず、朝日の朝礼時に申し送り等を行っている。終了時のだけ当日の申し送り時間は少量。	終了時の申し送りが朝礼時にはなっていないので、そこを解決する。
	22	日々のお迎に関して記録をとることを徹底し、支援の実績・連絡について記録している。	○		支援の記録を取ることは徹底しており、保護者間に確認を取っている。	支援の内容について付き時に口はなっていないので、そこを解決する。
	23	支援のレベルコンプライアンス、放課後等デイサービス計画の実施しかの解釈を徹底し、適切な運営に努めているか。	○		最低年に一度セミコンプライアンスを行い、支援方法の共通しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスのガイドラインの「４つの基本活動」を理解しかの方針で支援を行っているか。	○		「自立支援と日常生活の充実のための活動」「社会参加と地域との交流を通じた社会的適応能力の向上」「家族や仲間と共に支援を行っている。	
	25	こどもが自己成長できるような支援の工夫がされている場、時に応じて支援する方を育てるための支援を行っている。	○		ロジャンスムアイベントに関して、適切でできるだけ利用できることが有る。	ロジャンスムアイベントの目を、こどもが出て計画できる機会の提供。
地域とのつながりの内容	26	事業所周辺の支援事業所のサービス相当者交流や関係機関との交流し、そのこどもの状況など情報し共有が要求している か。	○		一部個々のみが、現場している地方事業している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や歯科医師等）、教育機関、保護者、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保護者、教育は連携できている。	医療機関に関しては連携がまだまだ少ないので、今後検討する。
	28	学校との関係性（放課後・長期学校等の交流、こどもの下校時間の確認）（連絡調整（対応時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		電話や、連絡帳、相談者会議などを通して行っている。	小学校は連携が取れない学校に関して、今後検討していく必要がある。
地域の資源の内容	29	放学校に利用している資源や地域、図書館、図書館、児童相談支援事業所等と必要で情報共有と相互理解に努めているか。		○	現在、放学校に利用していた事業所とは連携が取れていない。今後連携ができるよう関係の構築を行う。	
	30	学校等交通し、放課後等デイサービスから保護者間サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報の提供を行っているか。		○	特に、対応取りしないが、今後有効に利用を整えていく。	
	31	地域の児童発達支援センターの機関を図り、必要時に応じてスーパーバイズや地域や相談を受け保護者支援ができているか。		○	今の利用をない。	今後、連携を図っていく必要がある。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、同様の他のこどもと交流する機会があるか。		○		現在交流を保育は設けることができていない為、今後交流を保育を設けることができる機会を検討する。
	33	（補助支援）協議会等へ参加し、地域の関係者と情報共有している。	○		各の取り組みや関係に協議会に参加している。	
	34	必要に応じてこどもの状況や保護者と伝えたり、こどもの発達の状況や課題について共有課題を持っているか。	○		必要時や、必要に応じて対面や電話などで保護者とコミュニケーションを取り合っている。	
	35	関係の相談方の向上を図る観点から、事業に対して意見聴取を図りプログラム（ペアレント・トレーニング等）や勉強会の参加できる研修や機会や情報提供を行っている か。		○		本に関係に応じて相談や勉強会は行っていなかが、十分に出来ていない。事業所間協の勉強会等を検討する。
保護者への内容	36	送迎時、支援プログラム、利用料等の説明について「重な説明を行っているか。	○		送迎時に重要事項説明書と共に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス契約を作成する際には、こどもや保護者の意向や要望、こどもの最善の利益の観点や意の要望を踏まえて、こどもや保護者の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談を行い、意向の確認や各場合を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を作成しようする場合の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		面談を設定面接に関して本要の説の説明をし、同意を得ている。	
	39	家族間からの子育ての悩みに関して対する相談に適切に対応し、面談や必要に応じ支援を行っているか。	○		相談を受けた場合はと子育てサポートをおこっている。	
	40	公的の方の問題を改善するこどや、保護者自身を開催する形により、保護者同士で交流する機会を設ける場の支援をしているか。また、きょうだい児で交流する機会を設ける支援の支援をしている。	○		保護者同士のイベントを開催し、保護者同士で交流する機会を設けている。	保護者同士のイベント開催時にスタッフが入り支援だと、保護者相談と子育ての支援を行なやや、保護時の子の安全が必要
関係機関との連携の内容	41	こどもや保護者からの相談について、対応の結果を整理するとともに、こどもや保護者に報告し、時間があった場合に迅速かつ適切に対応している。	○		相談対応マニュアルを作成し、できるだけその日のうちに解決するよう行っている。	
	42	定期的に連絡帳を発行することで、HPやblog等を活用することにより、活動風景や行事予定、連絡事項等の情報をこどもや保護者に対して発信している。	○		blogなどで発信を行っている。	
	43	個人情報の取扱いにＩＴを活用している。	○		個人情報の重要は設計あの事例用の設計を最新に管理している。	
	44	保護のあるこどもや保護者との関係の調整や関係伝達のための記録をしているか。	○		連絡やblogなどの中身や取り扱い記録をしている。	
	45	事業所が日常に地域住民を招待する場、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人の行事では多くの方、地域住民を招待する会を開催を開催している。	事業所単位で可能な範囲を行う。
緊急時への内容	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルを作成し周知され、職員や事業所に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している か。	○		緊急をしており、訓練管理表にしているが、マニュアルの内容や保護者間に周知が出来ていない。	保護者間に個別を設定保護者要家庭時に周知を行う。
	47	業務継続計画（ＢＣＰ）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に訓練、勉強会の開催や訓練を行っているか。	○		定期的に訓練、研修を行っている。	BCPの内容について不の周知。
	48	事故に、保護中予防措置、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		定期的に保護者間に確認をしている。	
	49	食物アレルギーがあるこどもについて、医療の指示書に基づく対応がされているか。		○	アレルギーについては保護者間から聞きとり聞いているだけで、医療の指示書に基づく対応は出来ていません。	保護者間にてきるだけ医師の指示書等の対応を出来れるとする。特に注意点を要に集団に関し、たとえ保護者との連携を連携に入れていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じ必要、安全管理が十分されたやすく支援が行われているか。	○		安全管理に必要な研修、訓練を行っており、安全管理が十分されている。	研修内容の充実化を検討する。
安全管理の内容	51	こどもの安全確保に関して、事故発生の通常が図られるよう、安全計画に基づく指針や策定について、勉強会・周知している か。		○	全ての保護に公開報告されていない。	個別を設計基準の事前の提示、説明時における安全計画についての説明を行う。
	52	ヒヤリハットや事故再発防止等は、再発防止に向けた対策について検討をしているか。		○	ヒヤリハット報告書に、再発防止に向けた対策の記載を行っている。又、定期的に事故を共有する時間を設けている。	ヒヤリハットに関して見直しが出来る内容を検討する。
	53	虐待を防止するため、職員の研修時を確保する場、適切な対応をしているか。		○	虐待時と事務所会議で、入社時と改善に対応・第三と虐待防止研修を行っている。	研修の頻度を上げていく。年間研修。
	54	こどもの意見ニやその保護者自身等を行うなどして、組織的に決定し、こどもや保護者に事前にかなに説明して聞き取ると、放課後等デイサービス計画に反映している か。	○		事後時事通正化の保護で組織的に決定している。	事後時事を行っているが、今後発生する可能性もあるため、記録の取り方などの周知徹底を行う。